投資型年金保険コフノバリノユー

年金原資保証型変額個人年金保険

特別勘定 月次運用レポート

特別勘定名称

世界資産分散型MU

2025年10月発行

[募集代理店]

[引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワーホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/

お客さまサービスセンター フリーダイヤル

営業時間 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B18F0084(2018.4.20)

投資リスクについて

この保険は、国内外の株式・債券などで運用しており、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費 (年金管理費)」となります。ただし、契約日から10年未満の解約時などには、この他に別途「解約控除」がかかります。

運用期間中

◇すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目費用		時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率 1.95%	左記の年率の1/365を積立金から 毎日控除します。
資産運用関係費 [※]	信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して 年率 0.275%(税込)	左記の年率の1/365を投資信託の 信託財産から毎日控除します。

※上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などを間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。

◇特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
解約控除	基本保険金額(減額の場合は減額する部分の 基本保険金額)に経過年数別の 解約控除率(7.0%を上限)を乗じた金額	解約・減額または 「運用期間中年金支払移行特約」を付加した時 の積立金から控除します。

年金受取期間中

項目	費用	時期
保険契約関係費 [※] (年金管理費)	受取年金額に対して最大 0.35% (10年保証期間付終身年金の保証期間経過後、 および死亡時保証金額付終身年金の場合は最大 1.0%)	年金支払開始日以後、 年金支払日に控除します。

※年金額は、年金支払開始日以後、年金(死亡時保証金額付終身年金の場合の死亡時保証金額を含みます。)の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費(年金管理費)は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費(年金管理費)は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

ご留意事項

- * 年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に 規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
- *このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆 あるいは保証するものではありません。
- *このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

特別勘定の内容					
特別勘定の名称	主な投資対象の投資信託	運用会社			
世界資産分散型MU	三菱UFJ バランスファンドVA 30型 (適格機関投資家限定)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社			

主な投資対象の投資信託と運用方針

主な投資対象の 投資信託	運用方針	
三菱UFJ バランス ファンドVA 30型 (適格機関投資家限定)	主として内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託へ投資し、安定した収益の確保と着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式15%、国内債券15%、外国株式15%、外国債券(為替へッジなし)10%、外国債券(為替へッジあり)45%です。	



特別勘定資産の内訳

資産総額	資産配分			
(百万円)	投資信託	現預金等		
2	99.6%	0.4%		

- *特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用する他、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
- *特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



* 非表示部分を四捨五入

騰落率	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来	基準価額 (2025年9月末)
	1.11%	2.75%	5.01%	3.10%	12.77%	37.95%	137.9513

- * 特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。 特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。
- * 年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に 規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
- *このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- *このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

■商品概要

日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、MUAM 主要投資対象 ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着 実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

・日本債券インデックスマザーファンド受益証券15%、TOPIXマザーファンド受益証券15%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券 10%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券45%および外国株式インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産 配分とし、これを維持します。

運用方針

- ・各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバラン スに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。
- ・市況動向等を勘案して、標準資産配分の見直しを行う場合があります。

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- 金字に関は、 壁川自生質用(信託報酬) たいない値とり。 ・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)15%、NOMURA―BPI総合イン デックス15%、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)15%、FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)45%およびFTSE世界国債イ ンデックス(除く日本、円換算ベース)10%で組み合わせた合成指数です。
- ・参考指数は、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	19,519円
前月末比	+245円
純資産総額	0.03億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第17期	2025/02/20	0円
第16期	2024/02/20	0円
第15期	2023/02/20	0円
第14期	2022/02/21	0円
第13期	2021/02/22	0円
第12期	2020/02/20	0円
設定来累計		0円

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.3%	3.3%	6.1%	5.2%	19.7%	95.2%
参考指数	1.3%	3.3%	6.2%	5 4%	21.3%	106.9%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。 また、検金時の費用・税金等は考慮していません。 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

-XIIII			
	標準	ファント・の	各資産の
	資産配分	資産構成	月次騰落率
国内株式	15.0%	15.3%	3.0%
国内債券	15.0%	14.7%	-0.1%
外国株式	15.0%	15.3%	3.7%
外国債券(ヘッジあり)	45.0%	44.5%	0.2%
外国債券(ヘッジなし)	10.0%	10.0%	1.9%
コールローン他	0.0%	0.2%	_

[・]本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではあり ・分員を付め、一変のFD)だりドスインとと「株式芸社が信頼できると判断した領ケージに参ういて下放しましたが、その正確性、元宝性を体証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は被資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組むなる。 み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

〈参考情報〉

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用 レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



- グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

■ファンドの特色

- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用 を行います。
- ・東京証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
- ・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)から乖離するリスクと運用コストの 極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築 と適切な売買執行を行います。
- 株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引 等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額 の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位 を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投 資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる 運用指図を行うことがあります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.0%	11.0%	19.4%	21.6%	84.0%	256.5%
ベンチマーク	3.0%	11.0%	19.4%	21.5%	83.9%	254.3%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定 日以降の期間を対象に表示しています。 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限
- 定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内 現物	98.3%
内 先物	1.7%
コールローン他	0.0%

組入銘柄数:1675銘柄

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1	電気機器	17.2%	17.5%
2	銀行業	9.4%	9.6%
3	情報・通信業	7.9%	8.0%
4	卸売業	7.2%	7.3%
5	輸送用機器	6.7%	6.8%
6	機械	6.0%	6.1%
7	化学	4.7%	4.7%
8	小売業	4.4%	4.5%
9	サービス業	4.1%	4.1%
10	医薬品	3.5%	3.6%

■組入上位10銘柄

		小丘ノくをロコロ	XX. 1,070 EL177
銘柄	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1トヨタ自動車	輸送用機器	3.4%	3.4%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.4%	3.4%
3 ソニーグループ	電気機器	3.3%	3.3%
4 日立製作所	電気機器	2.2%	2.3%
5 ソフトバンクグループ	情報•通信業	2.0%	2.1%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9%	1.9%
7 任天堂	その他製品	1.8%	1.8%
8 三菱商事	卸売業	1.5%	1.6%
9 三菱重工業	機械	1.5%	1.5%
10 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.5%	1.5%

[・]本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべてのお刊は、サンカのアメアのアメアスを受ける場合には、アンドストランは、アンドストランとはアストランとはアストランとは、アンドストランとはアストラ 権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

比率

100.5% 100.4%

0.0%

-0.5%

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ベンチマークは、NOMURA BPI総合インデックスです。

■ファンドの特色

- ・NOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果をめざして運用 を行います。
- •NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資 対象とします。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引 等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信 託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維 持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資 比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運 用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。

■資産構成

実質国内債券

内 現物

内 先物

コールローン他

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.1%	-1.4%	-1.6%	-5.2%	-8.0%	10.7%
ベンチマーク	-0.1%	-1.4%	-1.6%	-5.2%	-8.0%	10.9%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限
- 定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	1.6%	1.6%
デュレーション	8.3	8.2

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保
- 版終刊回りとは、個別債券等について満期まで休 有した場合の複利利回りを示しています。 ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格 の感応度を示しています。デュレーションの値が大 きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が 大きくなる傾向があります。

■種別組入比率

	種別	比率
国債		85.3%
地方債		5.6%
政府保証債		1.0%
金融債		0.2%
事業債		6.7%
円建外債		0.3%
MBS		1.2%
ABS		0.1%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.1%
1~3年	21.8%
3~7年	29.7%
7~10年	17.4%
10年以上	31.5%

■組入上位10紀年

1年未満	0.1%
1~3年	21.8%
3~7年	29.7%
7~10年	17.4%
10年以上	31.5%

400061 ++++

■租人上位Ⅳ銘例			組入銘枘数:	1,030銘枘
銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第361回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2030/12/20	1.2%
2 第153回利付国債(5年)	国債	0.0050%	2027/06/20	1.1%
3 第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%
4 第365回利付国債(10年)	国債	0.1000%	2031/12/20	1.1%
5 第154回利付国債(5年)	国債	0.1000%	2027/09/20	1.0%
6 第376回利付国債(10年)	国債	0.9000%	2034/09/20	1.0%
7 第368回利付国債(10年)	国債	0.2000%	2032/09/20	1.0%
8 第372回利付国債(10年)	国債	0.8000%	2033/09/20	1.0%
9 第163回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/09/20	1.0%
10 第370回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2033/03/20	1.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA - BPI総合インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

各マザーファンドの運用状況 外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の 設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。 ・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

■ファンドの特色

- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資 成果をめざして運用を行います。
- ・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)に採用されてい る株式を主要投資対象とします。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引 等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額 の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位 を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投 資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる 運用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.7%	10.3%	18.7%	22.3%	93.8%	541.3%
ベンチマーク	3.7%	10.3%	18.6%	22.0%	92.9%	511.9%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定 日以降の期間を対象に表示しています。 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限
- 設定不の鷹洛平は、三冬0F0 ハンノヘノ・ノーマハ 00年、週間で展開で 定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。 487 1 ト付10業績 47 上付10銘柄

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.0%
内 現物	98.1%
内 先物	2.0%
コールローン他	-0.0%

■組入上位10業種

	27 1 P : 47 12	
	 業種	比率
1	半導体・半導体製造装置	10.6%
2	ソフトウェア・サービス	10.3%
3	資本財	7.5%
4	メディア・娯楽	7.4%
5	金融サービス	7.1%
6	テクノロジ・ハードウェア・機器	6.6%
7	銀行	6.5%
8	医薬品・バイオテクノ・ライフ	5.8%
9	一般消費財・サービス流通・小売り	4.9%
10	エネルギー	3.5%

■和人工型Ⅳ新州			組人銘枘	数: 1,141銘枘
銘柄	国∙地域	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.7%	5.8%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	4.9%	5.0%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.7%	4.8%
4 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%	2.8%
5 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.1%	2.1%
6 BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.9%	1.9%
7 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.9%
8 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.7%	1.7%
9 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%	1.6%
10 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.1%	1.2%

■組入国・地域

国∙地域	比率
1 アメリカ	75.6%
2 イギリス	3.7%
3 カナダ	3.4%
4 フランス	2.7%
5 ドイツ	2.5%
その他	10.2%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用 レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

各マザーファンドの運用状況 MUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド

■基準価額の推移



■ファンドの特色

- ・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、FTSE世界国 債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資 成果をめざして運用を行います。
- ・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債 券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。 また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。 ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転 換等により取得したものに限ります。
- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の
- 設定日(2008年4月21日)を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベー ス)です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.2%	0.0%	0.5%	-2.1%	-4.2%	20.6%
ベンチマーク	0.3%	0.0%	0.5%	-2.2%	-3.8%	20.4%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定 日以降の期間を対象に表示しています。 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資限定) - 職落率は
- の設定日(2008年4月21日)を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.3%	3.4%
デュレーション	6.2	6.3

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保 有した場合の複利利回りを示しています
- ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.7%
内 現物	99.7%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.3%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.1%
1~3年	27.4%
3~7年	36.7%
7~10年	13.8%
10年以上	21.7%

■組入国・地域

	国∙地域	比率			
1 アメリカ		46.2%			
2 中国		11.9%			
3 フランス		7.4%			
4 イタリア		6.9%			
5 イギリス		6.1%			
その他		21.2%			

組入经振粉, 221经振

■組入通貨

	通貨	比率
1 日本円		99.1%
2 米ドル		0.4%
3 ユーロ		0.3%
4 中国元		0.1%
5 英ポンド		0.1%
その他		0.1%

■組入上位10銘柄

	- 457 (br. (->bl.))				租人銘例	剱: 22Ⅰ
	銘柄	種別	クーポン	償還日	国•地域	比率
_	1 4.125 T-NOTE 270215	国債	4.1250%	2027/02/15	アメリカ	5.3%
,	2 3.875 T-NOTE 280715	国債	3.8750%	2028/07/15	アメリカ	3.5%
	3 4.125 T-NOTE 310331	国債	4.1250%	2031/03/31	アメリカ	3.1%
,	4 4.375 T-NOTE 291231	国債	4.3750%	2029/12/31	アメリカ	2.6%
	5 3.625 T-NOTE 290831	国債	3.6250%	2029/08/31	アメリカ	2.6%
,	6 3.875 T-NOTE 300430	国債	3.8750%	2030/04/30	アメリカ	2.5%
)	7 4.25 T-NOTE 280215	国債	4.2500%	2028/02/15	アメリカ	2.3%
	8 4.75 T-BOND 431115	国債	4.7500%	2043/11/15	アメリカ	2.2%
	9 3.875 T-NOTE 340815	国債	3.8750%	2034/08/15	アメリカ	1.8%
	10 2.55 CHINA GOVT 281015	国債	2.5500%	2028/10/15	中国	1.6%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではあり ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率です。為替ヘッジ相当分は日本円で表示されます。・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証では、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定·運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2025年9月末日現在

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の 設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。 ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース) です。 ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.9%	3.5%	4.9%	7.1%	20.9%	81.3%
ベンチマーク	2.0%	3.6%	4.9%	7.2%	21.5%	81.7%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定 日以降の期間を対象に表示しています。 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限
- 定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.4%	3.4%
デュレーション	6.2	6.3

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。 ・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■ファンドの特色

- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資 成果をめざして運用を行います。
- ・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に採用されてい る国債を主要投資対象とします。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引 等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信 託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維 持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資 比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運 用指図を行うことがあります。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.2%
内 現物	99.2%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.8%

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	1.0%
1~3年	27.3%
3~7年	34.5%
7~10年	14.0%
10年以上	22.3%

■組入国・地域

- 4-5 4-1 - 0-34						
国•地域	比率					
1 アメリカ	45.6%					
2 中国	11.2%					
3 フランス	7.9%					
4 イタリア	6.8%					
5 イギリス	5.6%					
その他	22.1%					

■組入涌貨

一心八瓜只							
	通貨	比率					
1 米ドル		45.9%					
2 ユーロ		30.1%					
3 中国元		11.4%					
4 英ポンド		5.6%					
5 カナダドル		2.0%					
その他		5.0%					

■組入上☆10分類

	■私人工业Ⅰ○鉛例				組入銘枘数:	978銘枘
	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
_	1 4.5 T-NOTE 270515	国債	4.5000%	2027/05/15	アメリカ	0.7%
	2 4.375 T-NOTE 270715	国債	4.3750%	2027/07/15	アメリカ	0.6%
_	3 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.6%
	4 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.5%
	5 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.5%
	6 4.25 T-NOTE 341115	国債	4.2500%	2034/11/15	アメリカ	0.5%
	7 3.5 T-NOTE 290930	国債	3.5000%	2029/09/30	アメリカ	0.5%
	8 1.625 T-NOTE 290815	国債	1.6250%	2029/08/15	アメリカ	0.5%
	9 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.5%
	10 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではあり ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四括五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、季託会社が計算したものです。 (除く日本、円換算ベース)とは、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

〈参考情報〉

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用 レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】

三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】 三菱UFJアセットマネジメント株式会社

■市況動向 2025年9月末日現在

国内株式

当月の国内株式市況は上昇しました。月前半は石破首相の辞任表明を受けて、次期政権下の財政出動や政治改革への 期待が高まりました。月後半は日銀金融政策決定会合での市場想定より早い上場投資信託(ETF)等の売却決定を嫌気 する場面もみられましたが、米国の早期利下げ観測や円安進行が株式市況を下支えしました。

国内債券

当月の国内長期金利は上昇しました。18-19日の日銀金融政策決定会合では政策金利が据え置かれたものの、2名の審 議委員が利上げを主張したことを受けて、年内追加利上げ観測が広がりました。他方、自民党総裁選を巡る各候補者の 主張に目立った財政拡張政策はみられなかったことから、財政悪化に対する過度な懸念は後退しました。

外国株式

当月の米国株式市況は上昇しました。月初は世界的な長期・超長期金利上昇が重しとなる場面もみられましたが、その後 は雇用減速や無難な内容となった米物価指標を受けて米早期利下げ期待が高まり、株式市況は堅調に推移しました。し かし、9月米連邦公開市場委員会(FOMC)やその後の米連邦準備制度理事会(FRB)高官の発言で追加利下げに慎重な 姿勢が示されたことから、月末にかけては上値が重い展開となりました。

ドイツ株式市況は下落しました。月初はフランスや英国の財政悪化懸念を受けた欧州金利上昇が嫌気され、株式市況は 軟調に推移しました。その後は米国で利下げが再開されたほか、ポーランド領空へのロシア無人機の侵犯・撃墜など地政 学的な緊張から欧州防衛関連株が買われたこともあり、株式市況は下落幅を縮小する展開となりました。

外国債券/為替

当月の米国長期金利は低下しました。月前半は8月米雇用統計の軟調な結果を受けて米早期利下げ期待が高まり、長期 金利低下が進みました。月後半にかけては、9月米連邦公開市場委員会(FOMC)でのパウエル米連邦準備制度理事会 (FRB)議長の発言や政策金利見通しで示された利下げペースが市場の期待ほどハト派的ではないと受け止められ、長期 金利は低下幅を縮小する展開となりました。

ドイツ長期金利は概ね横ばいとなりました。8月米雇用統計が軟調な結果だったことなどが低下要因となった一方、欧州中 央銀行(ECB)の9月政策理事会後の記者会見でラガルドECB総裁が今後の利下げに対して慎重な見方を示したことなど が上昇要因となり、両要因が綱引きする展開となりました。

為替は、対円で米ドルとユーロが上昇しました。

[・]本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではあり ません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行わ れない場合があります。